

松野けんいちろう

市議会レポート

長岡の未来を切りひらく!

Vol.11

2022年6月発行

市政に無関心でも無関係ではられない!!

アオーレ長岡

討議資料

新型コロナウイルス感染症の拡大から二年が経過いたしました。

●長岡市内の新型コロナウイルス感染症新規感染者数推移（2021年12月29日～2022年6月21日）

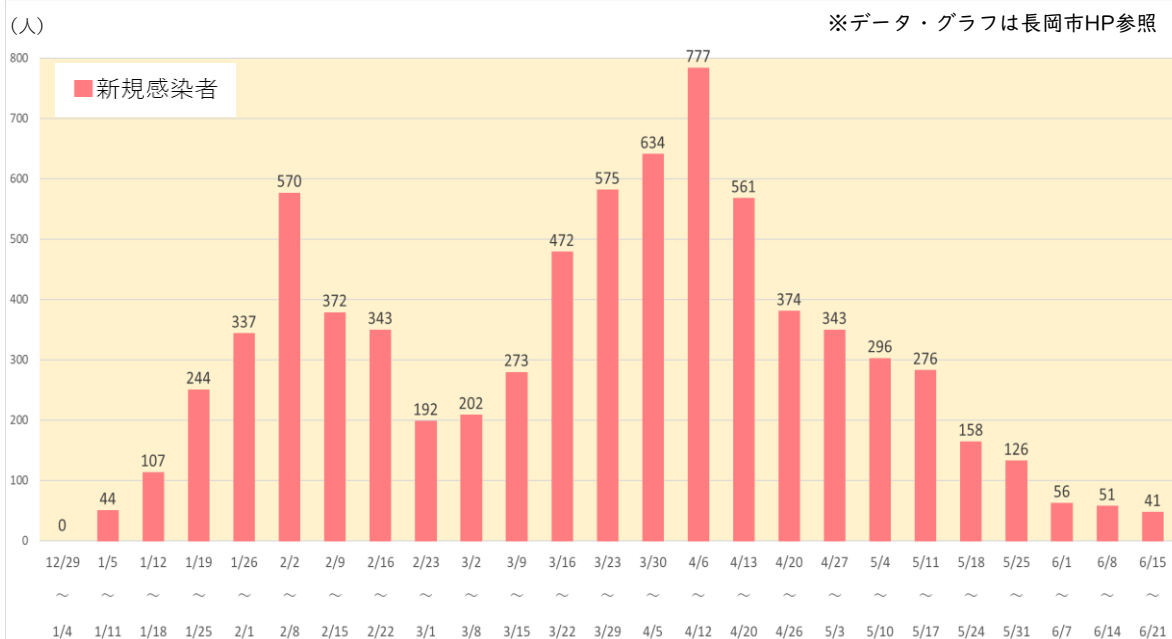
この間、複数回のワクチン接種や的確な感染症対策が実施され、今では長岡市内においても新型コロナウイルス感染者が、減少傾向にあります。そして現在、マスク着用を巡り進展がありますが、感染予防対策の基本であるマスクの着用・手指消毒、うがい、タイムリーな換気を行い感染予防に努めなければなりません。

また、ウクライナへのロシアの侵攻や三月に発生した福島県沖地震は、物価の上昇・エネルギー価格の高騰とともに市民生活に大きな影響を与えております。

引き続き市政に対しては、提案型で皆さまの地域に貢献できるよう取り組んでまいりますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。

長岡市議会議員

松野憲一郎



令和4年度の長岡市予算について

※抜粋



○議会で質問する松野議員
○イラスト:林 福次郎さま
(長岡市中沢2丁目)

注目すべき施策

○「米百俵プレイス ミライエ長岡」の開館準備

○長岡ニュータウン運動公園の整備(野球場整備の検討)

○行政手続き等のDX推進

○女性の起業・創業の支援

○長岡まつり大花火大会等のイベント開催の構築の支援

○Edu-Diver構想における教育情報プラットフォーム

○プログラミング講座等による
デジタルテクノロジーの体験機会提供

○悠久山公園における歴史を学ぶ環境整備(石碑周辺整備)

○戦災資料館、文書資料室の移転整備(既存建物再利用)

○長岡の未来を創る市民活動への支援

○子ども食堂への支援

○成年後見センター(仮称)の開設(制度利用の促進)

○ヤングケアラーの支援(支援体制の検討)

一般会計は **1,319億7,800万円** (前年度比1.4%増)

○がん患者の医療用補正具購入費の
助成制度新設(医療用ウィッグ等)

○犯罪被害者等の見舞金制度新設

○マタニティライフ応援制度の新設

○養育費確保の支援制度新設
(ひとり親家庭の養育費取り決めに要する費用の助成)

○消雪施設の整備に係る
補助率の引き上げ(40%→60%)

○コミュニティバス、デマンド型乗合タクシー等の
公共交通の確保維持

○子どもの医療費助成の
対象年齢拡充(入院・通院を高校まで)

○「わが町の防災タイムライン」を活用した
避難行動検討の支援(自主防災会等)

○雪下ろし用命綱固定アンカー設置の支援

○電気柵導入費用の支援制度新設

○鳥獣緩衝帯整備費用の支援制度新設

○長岡市エネルギービジョン(仮称)の策定

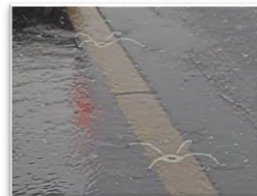
○省エネ・再エネの推進と
パワーエレクトロニクス産業の振興



長岡まつり大花火大会



子ども食堂

雪国に必須の
消雪パイプ

1、消防業務の諸課題について

松野のオ・モ・イ

2021年12月に大阪市北区の雑居ビル内でのクリニック放火事件や県内下越地方の米菓工場で発生した大規模火災について、本市の消防本部としてどのような対応があったのか。特に米菓工場の火災は、長岡市内にも類似工場があることから、地域に与える影響も非常に大きいと考える。

人口減少に加え、少子高齢化社会を迎えた現在、防災力の低下が懸念され、多様化する災害や大規模災害に的確に対応するためには、これまで以上に女性消防職員の活躍を推進する必要がある。女性が働きやすい職場環境整備はまわりにも良い影響を与えることにもなる。また、市職員同様に育児などの支援制度を活用できる制度整備や周りの支援などワークライフバランスの充実も大切であると考えます。

Q. 全国、県内で発生している

大規模火災の本市の対応について 【答弁者：消防長】

A. 大阪市北区での雑居ビル火災で20名以上亡くなった事件については、総務省からの通知を受けて雑居ビルに対し緊急立入検査を実施。避難経路の階段や通路に避難支障となる物品が置かれていないかなど調査実施し、消防用設備の点検未実施などの違反はあったが、避難に支障となる重大違反はなかった。

A. 県内での米菓工場の火災については、火災を受けて、長岡市独自に大規模食品加工工場に対し、緊急立入検査を実施。設備の入れ替えなどにより避難経路の不適が一部で見受けられたので、誘導灯の増設や設置位置変更など、是正指導を継続していく。

Q. ウイルス禍における

消防団訓練の在り方と安全確保について

A. 令和2年度からはポンプ操作競技会や秋の演習なお、全方面隊が集まって行う訓練や地域住民の方が参加する行事は実施していない。感染状況を注視しながら、消防団幹部と協議を重ね決定している。一方で、訓練を行わないことは災害活動技術の低下を招きかねず、団員の士気にも影響しかねないことから、各方面隊ごとに基本的な研修や放水訓練など、最低限必要な訓練は実施している。

Q. 女性消防職員の活躍について

A. 現在6名の女性が勤務している。消防業務は女性が活躍できる職場であることを就職イベントや学校に出向いて消防業務の紹介を行っている。女性応募者の増加には支援制度に加え、消防庁舎に女性専用スペースがあるなど、職場環境が充実していることのPRが重要である。現状では、女性職員が勤務できる庁舎が限られているので、今後は庁舎の建て替え時などに合わせて働きやすい職場環境整備に努める。

2、インフルエンザ予防接種について

松野のオ・モ・イ

新型ウイルス禍が続く経済活動が戻っていない現在、1回3000円～5000円のインフルエンザ予防接種費用が子育て世代に重くのしかかる。

インフルエンザ予防接種は、12歳までは十分な免疫を得るために2回の接種が必要になることから、**子育て世代**や**子どもが多い多子世帯**の経済的負担は大きくなる。

新型ウイルス禍では、給付金や一時金が何度か出たが、出たとしてもすぐに生活費に消えてしまう現実がある。そして、ロシアによるウクライナへの侵攻があり、欧州はエネルギーをロシアに相当依存していることから、今後、ロシアへのエネルギーリスクを軽減する「脱ロシア」の方向を考えると、世界中でエネルギー価格の高騰につながる。欧州諸国だけでなく、食料自給率(約37%)やエネルギー自給率(約12%)と低い日本にもダメージがあり、今後の市民生活においても大きな影響が出ることから、きめ細やかな生活面を支える国や県ができない長岡市独自の制度が必要であると考えます。

Q. インフルエンザ予防接種助成のさらなる拡大について 【答弁者：福祉保健部長】

A. 現在の助成対象は、重症化を防ぐという観点から、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者や60歳以上65歳未満の機能障害を有する方等になっている。現在のインフルエンザ感染状況の少なさから、現状では助成拡充の必要はないと考えるが、今後、これまで流行しなかったことの反動による感染急拡大などの事態が万が一発生した場合には、市町村単位ではなく広域的な対策が求められると予測されることから、国・県、近隣市町村の動向を見ながら状況に応じた適切な対策を取っていきたい。

【再質問！】

Q. インフルエンザ予防接種助成のさらなる拡大について

インフルエンザが流行する時期にある大きなイベントが高校入試や大学受験である。人生の分岐点でもある**高校入試を控えるような中学3年生**や**大学受験を控える高校3年生**へインフルエンザ予防接種助成をし、**安心して受験できるような仕組み**も大切な子ども・子育て支援になる。国・県ができないことをして支援するのが市の役割だと考えるが、改めてインフルエンザ予防接種助成の拡大について細分化も含めて伺う。

A. 今は行っていないが、住民税非課税世帯に対する10万円の給付事業や子育て世帯臨時特別支援金事業という制度の範疇のことであると思う。感染対策の政策の目的はやはりハイリスク者の保護や重症化予防が優先であることから、最適な政策は何かという議論になる。インフルエンザの感染が急拡大ということがあれば万が一に備えた感染対策をしっかりやりたいと考える。

地域情報 & 活動スナップ (2022年3月1日～5月31日)

仲間と対話！



全日本シニアバドミントン大会で毎年上位入賞している毛利さんと(越路塚山)

長岡市民の声を知事に届ける！



労働者の祭典メーデーで花角県知事と意見交換



池坊新潟中越支部創立30周年記念展(佐藤淳一支部長と)



松野けんいちろう市政報告会

議員活動の見える化！

垂直型太陽光パネル！



まちづくり・新エネルギー特別委員会視察(長岡技術科学大学)



花角県知事と意見交換



池坊新潟中越支部創立30周年記念展(アオーレ長岡)



市政報告会後 感謝のグータッチ！

皆さまに感謝！

